

月刊 星空の散歩道 11月号

2023年

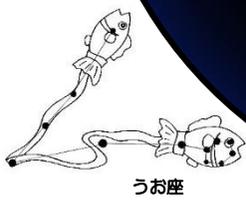
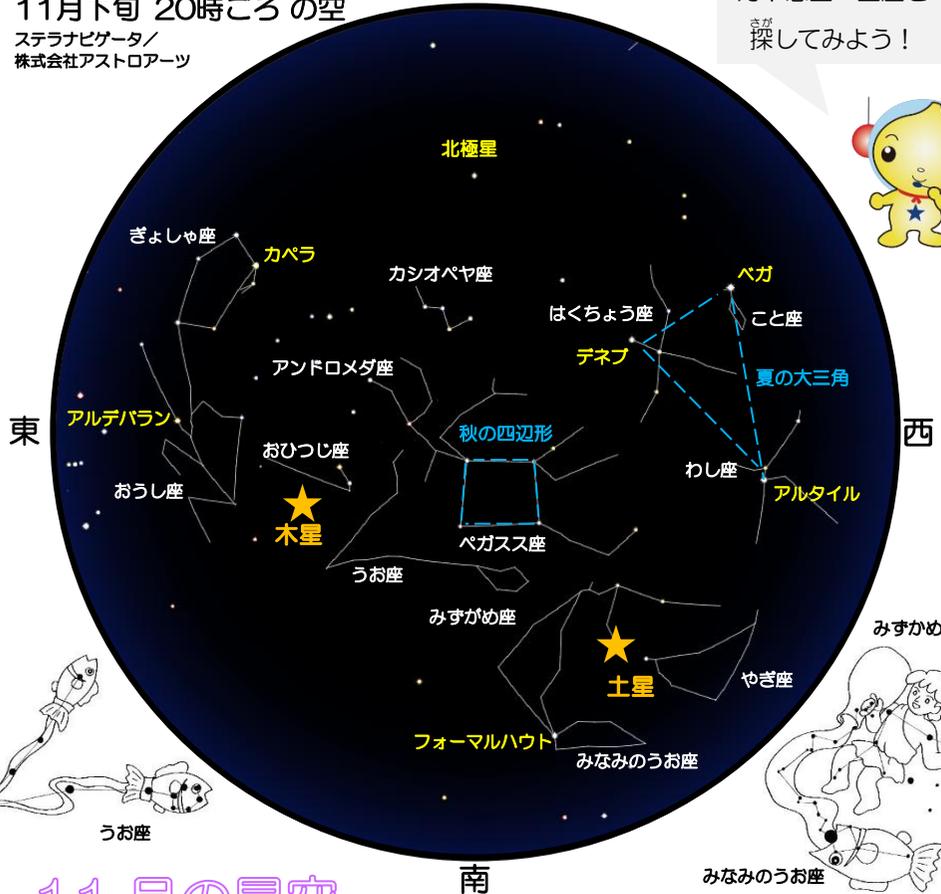
11月上旬 21時ごろ

11月下旬 20時ごろの空

ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ

北

つき やくせい せいざ を
さが 探してみよう!



11月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

夏の星座は西の空、秋の星座は南と天頂、冬の星座は東の空に見えています。

- < 西 > こと座 (ベガ)、わし座 (アルタイル)、はくちょう座 (デネブ)
- < 天頂 > ペガサス座、アンドロメダ座
- < 南 > みなみのうお座 (フォーマルハウト)
- < 東 > ぎょしゃ座 (カペラ)、おうし座 (アルデバラン)
- < 北 > 北極星、カシオペヤ座

☆天文トピック☆

11月 3日 木星が衝
地球から見て、木星が太陽のちょうど反対側にくるので、ほぼ一晩中、木星を見ることができます。

11月 20日 月と土星が並ぶ
月の近くに土星が見えます。

11月 25日 月と木星が接近
満月近くの月のすぐ近くに木星が見えます。木星も明るいので見ごたえがあるでしょう。

☆月の形の変化☆

- 11月 5日 下弦
- 11月 13日 新月
- 11月 20日 上弦
- 11月 27日 満月

☆11月の惑星☆

- 金星…明け方、南東の空
- 木星…真夜中、南の空
- 土星…日没後、南西の空

<天文コラム> 今年はプラネタリウム 100周年② 種類

今から 100 年前に世界で最初に登場した「光学式プラネタリウム」は、星を映し出す「恒星球」の中に電球 (ランプ) と「恒星原板」という星の並びを精密に写し取って穴を開けた板が入っています。電球の光が「恒星原板」の穴とその先にあるレンズを通り、星をドームに投影する仕組みです。

その後、「デジタルプラネタリウム」という、コンピューターで描いた星空をプロジェクターから映し出す手法が現れました。地球を飛び出して宇宙旅行をしたり、見る視点を宇宙内どこへでも持っていきことができたりするだけでなく、星の固有運動や他の天体から眺めた星空、そして望遠鏡で天体観測をする、といった演出も自由自在に施すことができます。当館では、光学式とデジタルを融合し、両方の利点を活かしながら、より臨場感のあるわかりやすい投影を行っています。

ごく最近では、ドーム全面が LED光源となり、テレビ画面のように画像や動画などを映し出すプラネタリウムも現れました。映像は明るく鮮明であるため、投影中もスマートフォンなどで撮影ができるのも特徴の一つとされています。

これからもプラネタリウムはどんどん進化を続けていくことでしょう。100周年のこの機会に、いろいろな機器に注目してみるのも楽しいと思いますよ。